

図工研だより



川崎市図画工作研究会
会報誌
【地区研究会報告号】
H28. 9

図画工作科研究会
会長 松下 友子

子どもたち、特に低学年の子どもたちは自分を認めて欲しい時に、「先生、見て見て！」
「ねえ、来て！」と共感を求めてくるのがよくある。こうした時について「じょうずだね。」
「うまいね。」と、言ってしまうことがないだろうか。子どもたちも先生のそんな言葉がけ
にうれしそうな表情を見せてくれる。しかし、「じょうず(上手)」、「うまい(上手い・巧い)」
の言葉の意味を調べてみると、いずれも技能に程度を示す言葉です。つまり、この言葉を使

※7月の夏季実技研修会にはたくさんの先生方に参加していただきました。ありがとうございました。
その様子は次号の会報でお伝えします。
また来年度も楽しい実技研修を計画していきますので、今年参加された先生方も参加されて
ない方も、ぜひ来年もご参加ください！お待ちしております！



9月7日(水)に第2回地区研究会が行われます。

授業に使えるヒントが満載の実技研修です。ぜひご参加ください！

第2回地区研究会 9月7日(水)

北部 麻生小学校「版画実技研修」 中部 向ヶ丘小学校「紙パワー全開<工作実技研修>」

南部 大師小学校「新聞アラカルト<造形実技研修>」 各地区 3時30分～です。

☆6月1日に行われた第1回地区研究会の様子です☆

北部(多摩区・麻生区)

【実技研修「ひもひもワールド」】

二十色ほどの太さの違う毛糸、質感の違うひもを一人ずつ人玉選びました。「ひもひもワールド」
の材料との出会いです。そして、場所は図工室。テーブルがあったり天井にフックがあったり。
同じテーブルのグループの先生たちで毛糸を結び、思い思いに毛糸を張り巡らせていきました。
図工室はまさに「ひもひもワールド」になりました。